

目次

マネジメント

特集

▶ 環境配慮製品

経営情報

E 環境

S 社会

G ガバナンス

その他

特集「環境配慮製品」

環境配慮製品の認定と当社ウェブサイトへの掲載

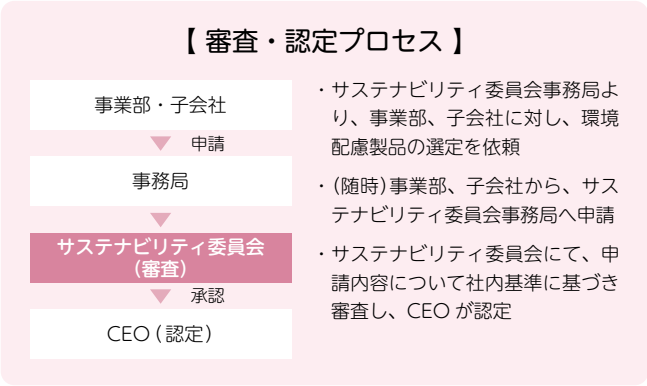
当社は、当社グループの製品（新製品だけではなく既存製品を含む）を通じて、脱炭素に向けた企業貢献（削減貢献）への取り組みを行っています。

当社は、サステナビリティ経営を推進するため、代表取締役社長 CEO を委員長とするサステナビリティ委員会を設置していますが、このたびサステナビリティ委員会において、各事業部および子会社から申請のあった環境に配慮した製品を審査・認定した上で、当社ウェブサイトにて「TOMOEGAWA 環境配慮製品」としてその一部を掲載しました。

当社グループにおける環境配慮製品とは、原材料から廃棄に至るまでの製品ライフサイクルにおいて、「省エネルギー」「省資源」「廃棄物削減」「生分解性」「大気・水環境保全」「地球温暖化防止」について、当社独自の基準で評価・分析を行い、一定基準以上の評価を得たものを言います。すでに「第三者認証」等を受けた製品もここに含まれます。

環境配慮製品は、いずれ当社グループの収益の柱となることが期待されると同時に、「マテリアリティ」に掲げた「技術革新による新たな価値創造と生産性向上」を実現するものとして、特に優先的に取り組むべきテーマと考えています。

なお、当社ウェブサイトの環境配慮製品の取り組みを見た学生が当社を志望するといった反応も見られ、当社の将来を担う人財の採用力強化にもつながっています。



【環境配慮製品の一例（当社ウェブサイト）】

環境配慮項目	環境配慮細目	セグメント	製品名 / テーマ名
省エネルギー	消費するエネルギー（燃料・熱・電気）を少なくできる製品または技術	トナー事業	低温定着トナー
		半導体・ディスプレイ関連事業	フレキシブル面状ヒーター
			高性能ヒートシンク
省資源	消費する原材料を少なくできる製品または技術 ※石油由来原材料の削減（バイオマス由来原材料の使用）	トナー事業	バイオマス由来樹脂を使用したトナー
		機能性シート事業	グリーンチップ® CMF®
			リカテープ
		セキュリティメディア事業	① PET 混抄紙国際カード ② PET 混抄紙 Felica カード
生分解性	生分解性原材料を使用している製品	トナー事業	生分解性原料を使用したトナー
大気・水環境保全	大気中または水域、土壌もしくは地下水中に排出する有害物質を少なくできる製品または技術	トナー事業	環境規制対応トナー
地球温暖化防止	GHG 排出量を少なくできる製品または技術	機能性シート事業	グリーンチップ® CMF®
			リカテープ
第三者認証	環境ラベルなどの認定・認証等を受けた製品	機能性シート事業	グリーンチップ® CMF®
			リカテープ
			リカセルフ
		セキュリティメディア事業	バイオマスマーク認証 PET 混抄紙使用カード

※グリーンチップ® CMF® は、エフピー化成工業株式会社様と共同開発した製品です。

目次

マネジメント

特集

▶ 環境配慮製品

経営情報

E 環境

S 社会

G ガバナンス

その他

特集「環境配慮製品」

環境技術実証 (ETV) 事業の選定

当社の保有する技術が令和7年度環境技術実証 (ETV: Environmental Technology Verification) 事業における実証対象技術として選定されました。

ETV 事業は環境省の実施する事業で、すでに実用化された先進的環境技術の環境保全効果を第三者が客観的に実証することにより、その効果を技術利用者が適正に選択できるようにするものであり、環境技術の普及促進、環境保全および環境産業の発展を目的としています。

今回選定対象となったのは、気候変動対策技術領域として「フレキシブル面状ヒーター」、資源循環技術領域として「グリーンチップ® CMF®」の2技術で、全選定技術5件のうち2件が当社のものとなります。

今後、技術実証検討会が開催され、以上の2技術について実証が開始される予定です。

2025年04月28日 総合発表	
令和7年度環境技術実証 (ETV) 事業における実証対象技術及び実証機関の選定について	
環境省は、令和7年度環境技術実証 (ETV: Environmental Technology Verification) 事業について、以下のとおり実証対象技術及び実証機関を選定しました。	
概要	
環境技術実証 (ETV: Environmental Technology Verification) 事業は、既に実用化された革新的な環境技術について、その環境保全効果等をISO14034と整合して第三者が客観的に実証することにより、環境技術の利用促進等による技術の継承、導入等に際し、環境保全効果等を検証・検討し適正な選択をすることが可能となり、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を目的とするものです。	
実証対象技術及び実証機関の選定	
環境省では令和6年度環境技術実証事業において実証対象技術候補及び実証機関候補の公募を行い、環境技術実証事業諮問委員会における審議を経て、令和7年度実証対象技術及び実証機関を以下のとおり選定し、環境省がこれを承認しました。	
○気候変動対策技術領域	
実証対象技術	実証機関
・断熱新気ユニット「エコサツ」(三好設備工業株式会社)	一般財団法人省エネルギーセンター
・フレキシブル面状ヒーター (株式会社門川コーポレーション)	一般財団法人省エネルギーセンター

環境省ウェブサイト: https://www.env.go.jp/press/press_04832.html

グリーンチップ® CMF®

サステナビリティに貢献する
 セルロースファイバーを配合した
 バイオマス複合樹脂



ポリプロピレン樹脂 (PP 樹脂) に木材由来のセルロースファイバーを高配合した複合樹脂です。

石油由来樹脂の使用量を削減できます。食器、カトラリー、容器、日用雑貨、建材、家具、家電部品、自動車部品などでの使用や検討が進んでいます。

実証機関にてリサイクル性能 (性能保持) を試験し、マテリアルリサイクルについて実証する予定です。



グリーンチップ® CMF® ペレット



用途展開例 (食器用途)

フレキシブル面状ヒーター

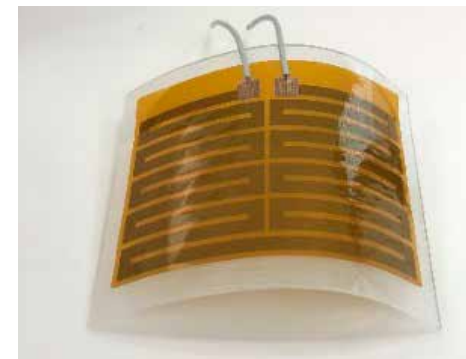
効率的な加熱で
 省エネに貢献する
 フレキシブル面状ヒーター



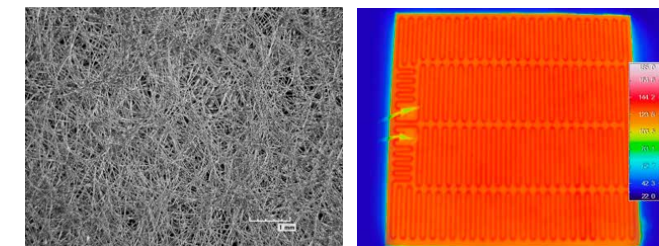
当社の独自の技術であるステンレス繊維シートを使用しています。フレキシブルなため被加熱体に密着し、発熱ムラも少なく、効率的に加熱します。

半導体製造装置や工場など各種設備の配管、曲面部、狭い場所などでの使用や検討が進んでいます。

実証機関にて消費電力を測定し省エネ効果について実証する予定です。



用途展開例



ステンレス繊維シート 顕微鏡画像

発熱ムラが少なく、均一に発熱